

アウトバウンド型オープンイノベーションの取り組みについて

～JR 西日本が持つデータソリューションを軸に、製造業の DX 化に貢献します～

西日本旅客鉄道株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：長谷川一明、以下「JR 西日本」）は、中期経営計画 2025 においてイノベーションによる長期ビジョンの実現を掲げ、保有する技術やノウハウを活用し、鉄道という枠を超えて、世の中の課題解決を果たす「アウトバウンド型のオープンイノベーション」を推進しております。その活動においては、当社社員が様々な企業の皆様のもとへ赴いて課題を伺い、最適なソリューションをご提案し、課題解決に貢献させていただいております。

その中で、特に製造業における課題解決に資するものとして、当社が保有するデータアナリティクス技術などをお認めいただくケースが増えてまいりました。今回は、東洋紡株式会社様の製造ラインにおいて、当社 CBM(Condition Based Maintenance)技術をもとに異常検知・原因予測に応用した事例とともに、その他ソリューションを合わせて、2025 年 1 月 22 日（水）～1 月 24 日（金）東京ビッグサイトで開催される「第 9 回スマート工場 EXPO」に出展することをお知らせいたします。

1. 当社 CBM 技術の製造ラインに対する応用

【事例】東洋紡株式会社製造ラインの異常検知・原因予測

当社自動改札機のメンテナンスに活用している CBM 技術をもとに、東洋紡株式会社様の製造ラインの異常検知・原因予測を実施する AI を共同開発いたしました。



背景

当社在来線管内に有する自動改札機約2,000台に対し、従来は1台あたり平均年7回の定期点検を実施していたが、平均年2回の故障（オンコール）が発生する状況であった

効果

故障予測AI導入実証により、**総点検回数を約3割、故障発生件数を約2割減少**させることが認められ、全社へ展開

導入実績：東洋紡株式会社

製造ラインの様々なデータをリアルタイムに活用し、故障や品質不良につながる異常の検知・原因予測を行うAIを当社と共同開発。2024年4月より、本運用を開始

効果

これまでに対応した事例2件の合計で、導入していない場合に比べて**復旧が約10時間早まり**、生産ロスと作業者負荷を低減

2. 第9回スマート工場 EXPO への出展

CBM 技術や画像認識技術など、製造業向けの一連のソリューションを、第9回スマート工場 EXPO へ出展し、広くご紹介してまいります。

- ・開催期間：2025 年 1 月 22 日（水）～24 日（金）
10 時 00 分～17 時 00 分
- ・出展場所：32-26（※ブース位置）
- ・会場：東京ビックサイト
（東京都江東区有明 3 丁目 11-1）
- ・主催：RX Japan 株式会社
- ・ソリューション一例
：鉄道事業を舞台に磨き上げた画像認識技術をもとにした、
AI カメラ "mitococa" シリーズ(監視カメラ・検品)



今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、17 番に貢献するものと考えています。

